

平成 22 年度
地域医療再生学講座（寄附講座）活動報告書

平成 23

年 3 月

愛媛大学大学院医学系研究科

地域医療再生学講座

地域医療再生学講座開設

島山隆雄（地域再生医療学講座主任教授）

昨年平成22年4月に私どもの地域医療再生学（寄附）講座が開設されました。当講座の成り立ちからこれまでを振り返り、今後のあり方を述べたいと思います。

「地域医療再生」は、昨年（2009年）の1月、当時麻生太郎総理大臣が地域の医師不足・救急医療等の課題対応と景気改善の緊急対策として「地域医療再生」と銘打ちしたものです。その後、政権交代等の紆余曲折を経て、国は平成21年度から25年度までの5年間の「地域医療再生交付金事業」として、各都道府県内にある2ヶ所の2次医療圏に1ヶ所25億円ずつの資金を交付しました。

愛媛県は医師不足で救急医療等の問題を抱えていた八幡浜・大洲圏域と、県立三島病院の民間移譲に伴う地域医療の混乱が予想された宇摩圏域（四国中央市）を交付地域として選定しました。その後、県は両地域の医療支援等の目的で、受けた交付金の一部を愛媛大学に寄附しました。この県の再生計画策定の段階から、愛媛大学では大西丘倫大学院研究科長、横山雅好附属病院長が中心となり、今年（2010年）4月に八幡浜・大洲圏域を担当する「地域救急医療学」と宇摩圏域担当の「地域医療再生学」の2つの寄附講座の開設と地域医療支援センター（仮称）建設（2011年6月完成予定）の計画・実施を推進されました。

この地域医療再生学（寄附）講座は以上の目的で開設されましたが、メンバーは今川 弘教授（心臓血管外科）、篠原直樹助教（脳神経外科）、村尾紀久子助教（小児科）、そして私（脳神経外科）4名の臨床系医師で構成された小所帯です。四国中央市役所にある「地域サテライトセンター」を通じて公立学校共済組合四国中央病院に村尾助教と石川病院に残り3名（両病院にも愛媛大学「地域サテライトセンター」があります）の医師を派遣し、専門科の業務と救急支援にあたっています。さらに、後に建てられる地域医療支援センターから大学内各科医師の支援を受けて、四国中央市の医療再生を図っていくことも計画されています。また、若い医師が愛媛に残る手立ての一つとして、地域の病院で医学生の実習（平成22年5月に2名実習）や研修医の研修ができる支援も行います。

昨年4月より各教員は地域サテライトセンターの設置病院の診療支援を行い、この地域の救急医療の問題について実感しています。そのことより現場の医療を通じた問題の改善の方策について検討しています。また、県、市、2次救急病院代表そして当講座教授の参加による1～2か月に1回開催される四国中央市の「2次救急受入に係る検証委員会」で、救急病院受け入れ困難事例を中心に検討されています。

今後罹患率の高い高齢者の患者の増加で、地域医療の中核である2次救急病院にさらに負担が掛かることが考えられます。過重労働等による勤務医離れて診療科休止や病院閉鎖がないようにするために、不要・不急の時間外受診の抑制、1次から3次までの医療機関の連携について、行政・2次救急病院・医師会そして住民が一体となって救急医療を含めた幅広い地域医療の問題に取り組むことが必要と思われます。そのために、当講座は、行政・2次救急病院・医師会と連携しながら、住民への救急や生活習慣病の演題会、地域の説明会等を通じて、応急処置や適正な医療機関への受診の啓蒙を平成22年度に引き続いて行っていきます。また、脳卒中、心筋梗塞などの国・県の事業政策を地域に展開する支援も行う予定です。

地域医療再生学講座の1年間

今川 弘 (地域医療再生学講座教授)

平成22年4月1日に、愛媛大学 医学部に「地域医療再生学講座」が開設され、同時に、四国中央市に「地域サテライトセンター」(石川病院ならびに四国中央病院)が設置されました。地域医療再生学講座においては、大学・大学院(教育)、医療機関等(臨床)、地域(宇摩圏域)との有機的な連携を基盤として、地域医療の実践、それに関わる教育・研究支援事業、地域住民や専門職に対する生涯学習・交流事業、健康増進のための支援事業などを行っていきたいと考えています。本講座からは、石川病院内のサテライトセンターに3名(脳神経外科専門医2名、心臓外科専門医1名)、四国中央病院のセンターに教員1名(小児科専門医)を派遣し、それぞれの病院にて一般および救急診療の支援を行っています。

地域医療とは「地域住民に対する医療・生活支援活動」であり、地域医療の目標とは、住民、医療関係者、行政が一体となって、病気を治療することのみならず、退院後のリハビリテーションや日常生活への復帰支援、健康の維持・増進、あるいは病気の管理を行うことである、と考えられます。この観点からは、講座の構成員が宇摩圏域における“地域医療”の充実に貢献できたことは間違いないと確信しています。一方で、医師の偏在化や心理の変化、患者の大病院志向などが医療問題として生じ、さらに、これらが地域医療の破綻を招いているという、日本全体に見られる構図が、四国中央市においても認められると思われます。宇摩圏域においては、救急医療のこれまでの経過、今後のあり方等について、四国中央市行政と二次救急病院の間で懇談会が開催されてきました。われわれも、四国中央保健所、四国中央市消防本部、宇摩医師会、愛媛県等と共に、この話し合いに出席させていただき、地域医療の問題点を明らかにすると共に、その解決に向けてのお手伝いをしたいと考えています。さらに、行政、保健所、二次救急病院、医師会等で主催されている疾病の説明会・演題会を通じて、地域住民の健康支援活動に取り組んで参ります。

平成22年度には、愛媛大学医学生(5年生)2名の臨床実習(5月10~21日)を石川病院において行いました。学生は医療専門家とともに住民とふれあうことから、地域医療を実践的に学ぶことができるのではないかと考えています。愛媛大学医学部の学生に対して、新しい臨床教育の場の一つを宇摩圏域において提供することとなったのではないのでしょうか。平成23年度からは、住民と学生の間をより密接なものとするにより、医療者と学生が住民の健康に資するという地域貢献の考え方を学生が学びやすくすることや、住民が学生教育に参加するという、いわゆる地域の大学化の実現を目標とするのも可能なのではないかと考えています。また、地域での実地医療および診療連携に参画することにより、学生においては地域医療の現状と課題を理解すると共に、人間性と協調性に溢れた医療を実践するという地域医療の理念を自覚してもらえないかと期待しております。

今後とも、宇摩圏域の医療者の一員として、地域医療診療に貢献していきたい、と考えております。さらに、地域住民が求める良質の医療を恒常的に提供していくことを目的に、社会に貢献できる医療職を育成したいと思っています。いろいろと述べて参りましたが、目標を高く掲げ、一步一步地道に進むことが大事だと念じております。皆様方のご支援、ご鞭撻を、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

平成 22 年度活動実績等

[1]教育活動

- 4 月～(H23)3 月 講義：「地域中核病院の脳神経外科」医学部医学科 5 年生 (臨床参加型実習) 【畠山】
- 5 月 10 日～21 日 医学実習の指導(石川病院) 医学部医学科 5 年生 2 名 【畠山・今川】
- 6 月 25 日 講義：「頭部外傷の応急処置」医学部医学科 1 年生 【畠山】
- 10 月 8 日 客観的臨床能力試験 (OSCE)のための実習 医学部 4 年生 【村尾】
- 11 月 19 日 客観的臨床能力試験 (OSCE)のための実習 医学部 4 年生 【畠山】
- 12 月 3 日 客観的臨床能力試験 (OSCE)のための実習 医学部 4 年生 【今川】
- 1 月 28 日 講義：「頭部外傷」(愛媛大学城北キャンパス) 工学部 1 年生 【畠山】

[2]研究活動

今川：「宇摩医療圏の高齢者心房細動患者における血栓形成病態の血液凝固系活性による評価」

村尾：「極低出生体重児の慢性肺疾患の客観的指標と早期介入に関する研究」

[3]学会発表

村尾

- 11 月 5 日 第 55 回日本未熟児新生児学会学術集会 (兵庫県神戸国際会議場)
演題：「出生前に原因の特定されなかった羊水過多症例の検討」

[4]論文発表・その他

- Morihara H, Zenke K, Shouda D, Fujiwara S, Suehiro S, Hatakeyama T:
Intraorbital encephalocele in an adult patient presenting with pulsatile exophthalmos.
Neurol Med Chir (Tokyo) 2010;50:1126-1128
- Imagawa H, Shikata F, Kido T, Hosokawa K, Ryugo M, Kawachi K, Mochizuki T:
Dual source computed tomography demonstrating obstruction of left ventricular outflow tract
in a patient after mechanical valve replacement using a Starr-Edwards mitral disk prosthesis.
Ann Thorac Surg 2010;90:314
- Imagawa H, Ishikawa K:
Fading out dip and plateau pattern of right ventricular pressure in constrictive
pericarditis.
Circulation 2010;122:404-5
- Shikata F, Nagashima M, Kawachi K, Kido T, Watanabe K, Ryugo M, Imagawa H, Mochizuki T:
Images in cardiovascular medicine. Dual-source computed tomography for visualization of the
abnormal motion of the aortic cusp after re-replacement of the mitral valve.

- Circ J 2010;74(10):2241-3. Epub 2010
- Higaki T, Yamamoto E, Ryugo M, Imagawa H, Shikata F, Nagashima M, Ohta M, Takata H, Murao K, Chisaka T, Moritani T, Watanabe R, Tomita H, Kawachi K, Ishii E:
The use of a handmade balloon-expandable covered stent for native co-arctation of the aorta in an adult patient: a report of a first case in Japan.
Cardiol 2010;56(3):287-90. Epub2010
 - Shikata F, Imagawa H, Kawachi K, Kido T, Kurata A, Inoue Y, Hosokawa K, Nagao M, Higashino H, Mochizuki T, Ryugo M, Nagashima M:
Regional myocardial blood flow measured by stress multi detector computed tomography as a predictor of recovery of left ventricular function after coronary artery bypass grafting.
Am Heart J 2010;160(3):528-34
 - Nagashima M, Shikata F, Okamura T, Yamamoto E, Higaki T, Kawamura M, Ryugo M, Izutani H, Imagawa H, Uchita S, Okamura Y, Suzuki H, Nakamura Y, Tagusari O, Kawachi K:
Anomalous subaortic left brachiocephalic vein in surgical cases and literature review.
Clin Anat 2010;23(8):950-5
 - Imagawa H, Shiozaki T, Ryugo M, Shikata F, Nakata T, Nagashima M, Kawachi K:
Off-pump coronary bypass via left thoracotomy resulting from sternoclavicular arthritis.
Ann Thorac Cardiovasc Surg 2010;16(2):125-7
 - 畑地登志子, 今川弘, 塩崎隆博, 流郷昌裕, 河内寛治:
骨形成不全症に並存した大動脈弁閉鎖不全症の1例.
日臨外会誌 2010;71 : 2539-2542
 - 畠山隆雄:
宇摩地域の医療の課題.
宇摩医師会報 2010;130:1-3
 - 今川弘:
宇摩地域の医療の課題.
宇摩医師会報 2010;130:4-5
 - 村尾紀久子:
宇摩小児科医会報告.
宇摩医師会報 2010;130:18-20

➤ 島山隆雄:

地域医療とパンドラの箱.

愛媛県医師会報 2011;852:20-22

[5]研究会・学会・セミナー等参加

島山

- 5月29日 愛媛脳神経外科懇話会第101回学術集会（愛媛県ひめぎんホール）
9月3日 第3回愛媛脳卒中シームレス研究会・学術講演会（愛媛県ひめぎんホール）
9月11日 第12回中国四国脳卒中研究会（岡山県岡山コンベンションセンター）
10月9日 第38回日本救急医学会総会・学術集会（東京都東京ビッグサイト）
10月27日 日本脳神経外科学会第69回学術総会（福岡県福岡コンベンションセンター）
11月13日 愛媛脳神経外科懇話会第102回学術集会（愛媛県リーガロイヤルホテル新居浜）
11月20日 第8回学術総会日本医療バランスト・スコアカード研究学会（大阪府大阪ビジネスパーク円形ホール）
2月5日 第9回石川病院グループ学会（愛媛県石川病院）
2月10日 第7回愛媛Strokeセミナー（愛媛県ホテルJALシティ）
2月18日 第48回愛媛脳神経外科懇話会（愛媛県大和屋本店）

今川

- 4月8日 第110回日本外科学会定期学術集会（愛知県名古屋国際会議場）
6月11日 第96回日本循環器学会中国・四国合同地方会（鳥取県米子コンベンションセンター）
6月24日 第53回関西胸部外科学会学術集会（愛知県名古屋国際会議場）
7月10日 第15回せとうち心臓CT勉強会（岡山県岡山国際交流センター）
7月15日 第42回日本動脈硬化学会総会・学術集会（岐阜県長良川国際会議場）
7月23日 第3回呉国際医療フォーラム（広島県呉医療センター）
7月29日 第15回日本冠動脈外科学会学術大会（大阪府ホテル阪神）
8月26日 日本ブリーフサイコセラピー学会第20回長崎大会（長崎県長崎ブリックホール）
9月11日 第2回日本静脈経腸栄養学会四国支部会学術集会
(愛媛県松山市総合コミュニティーセンター)
9月18日 日本保健医療社会学会・関西定例研究会（大阪府龍谷大学大阪梅田キャンパス）
9月25日 大阪府臨床工学技士会（大阪府大阪大学銀杏会館）
10月7日 第14回日本心不全学会学術集会（東京都京王プラザホテル）
10月8日 地域医療についての懇談会（愛知県名古屋市立大学）
10月9日 第6回「市民のためのがん治療の会」講演会（島根県ビッグハート出雲）
10月24日 第63回日本胸部外科学会定期学術集会（大阪府大阪国際会議場）
10月30日 第20回広島がんセミナー・第4回三大学コンソーシアム（広島県広島国際会議場）
11月13日 第31回日本レーザー医学会総会（愛知県ウインクあいち）

- 11月20日 せとうち心臓MR研究会（愛媛県EBCホール）
- 11月27日 第69回QOL研究会（兵庫県神戸女学院大学）
- 12月3日 第11回日本クリニカルパス学会（愛媛県ひめぎんホール）
- 1月8日 第13回日本成人先天性心疾患学会（福岡県福岡国際会議場）
- 1月20日 TALENT 胸部ステントグラフトシステム WORKSHOP（大阪府大阪大学）
- 1月21日 第21回日本心血管画像動態学会（愛媛県ひめぎんホール）
- 1月30日 第43回若年者心疾患対策協議会（山口県山口県総合保健会館）
- 2月22日 第41回日本心臓血管外科学会学術総会（千葉県東京ベイ舞浜ホテルクラブリゾート）
- 3月26日 第6回脳心血管抗加齢研究会（東京都東京ステーションコンファレンス）
- 3月15日 心電図記録装置・伝送システム導入についての懇談会（愛媛県四国中央市消防署）

篠原

- 5月29日 愛媛脳神経外科懇話会第101回学術集会（愛媛県ひめぎんホール）
- 6月10日 第25回日本脊髄外科学会（愛知県名古屋国際会議場）
- 6月19日 第1回愛媛脊椎脊髄病セミナー（愛媛県リジェール松山）
- 9月3日 第3回愛媛脳卒中シームレス研究会・学術講演会（愛媛県ひめぎんホール）
- 9月29日 四国中央市消防署 ICLS スキルアップセミナー（愛媛県四国中央市消防署）
- 10月9日 第10回 Autumn Brain Conference in Dogo（愛媛県道後山の手ホテル）
- 10月23日 第9回東予 ICLS（愛媛県済生会西条病院）
- 10月27日 日本脳神経外科学会第69回学術総会（福岡県福岡コンベンションセンター）
- 12月11日 第2回愛媛脊椎脊髄病セミナー（愛媛県松山市総合コミュニティーセンター）
- 2月5日 第9回石川病院グループ学会（愛媛県石川病院）
- 2月10日 第7回愛媛 Stroke セミナー（愛媛県ホテル JAL シティ）

村尾

- 7月11日 第46回日本周産期・新生児医学会（兵庫県神戸国際会議場）
- 11月20日 第18回小児集中治療ワークショップ（長野県軽井沢プリンスホテルウエスト）
- 2月18日 第17回日本胎児心臓病学会（北海道旭川グランドホテル）

[6]社会貢献

(1)各種委員会

- | | | |
|--------|--------------------|----------------|
| 5月19日 | 第1回二次救急受入に係る検証委員会 | （四国中央市）【畠山・今川】 |
| 5月31日 | 救急医療対策協議会第1回専門委員会 | （四国中央市）【畠山・今川】 |
| 6月18日 | 第2回二次救急受入に係る検証委員会 | （四国中央市）【畠山・今川】 |
| 7月13日 | 救急医療対策協議会第2回専門委員会 | （四国中央市）【畠山・今川】 |
| 7月22日 | 第3回二次救急受入に係る検証委員会 | （四国中央市）【畠山・今川】 |
| 9月1日 | 第1回宇摩圏域医療再生計画推進協議会 | （四国中央市）【畠山・今川】 |
| 9月30日 | 第4回二次救急受入に係る検証委員会 | （四国中央市）【畠山・今川】 |
| 11月25日 | 第6回二次救急受入に係る検証委員会 | （四国中央市）【畠山・今川】 |

- 12月22日 救急医療対策協議会第3回専門委員会 (四国中央市)【畠山・今川】
 1月24日 第7回二次救急受入に係る検証委員会 (四国中央市)【畠山・今川】
 3月24日 第8回二次救急受入に係る検証委員会 (四国中央市)【畠山・今川】

(2)講演会

- 5月14日 四国中央市PTA連合会専門委員会(四国中央市)
 演題：「四国中央市の救急医療について」【畠山】参加人数70名
- 5月26日 四国中央市第24回定期総会元気で百まで生きよう会(四国中央市)
 演題：「脳卒中とその予防」【畠山】参加人数27名
- 7月21日 新居浜地区MR勉強会(新居浜市)
 演題：「脳梗塞の治療戦略」【畠山】参加人数34名
- 8月31日 四国中央市第25回定期総会元気で百まで生きよう会(四国中央市)
 演題：「心臓病について」【今川】参加人数36名
- 9月18日 第5回石川病院栄養教室(四国中央市)
 演題：「心臓病と高血圧」【今川】参加人数21名
- 10月5日 川之江ロータリークラブ職場例会(四国中央市)
 演題：「脳卒中について」【畠山】
 演題：「高齢者における心疾患について」【今川】参加人数：53名
- 10月25日 社会福祉法人愛美会地域ふれあい講演会(四国中央市)
 演題：「脳卒中について」【畠山】参加人数105名
- 11月25日 新居浜地区MR勉強会(四国中央市)
 演題：「脳卒中診療について」【篠原】参加人数20名
- 12月1日 四国中央市適正受診啓発講演会(四国中央市)
 演題：「心臓病で倒れないために」【今川】参加人数85名
- 1月24日 社会福祉法人愛美会地域ふれあい講演会(四国中央市)
 演題：「いろんな心臓の病気の知りたいこと」【今川】参加人数70名
- 2月16日 石川病院地域健康教室“こたないん会”(四国中央市)
 演題：「脳卒中にならないために」【畠山】参加人数30名

- 2月20日 第18回川滝地区「女性の集い」(四国中央市)
演題：「脳卒中の予防と治療」【畠山】参加人数125名
- 2月22日 第3回石川病院地域医療講演会(四国中央市)
演題：「脳卒中—早期治療で命を救う—」【畠山】、参加人数472名
- 3月12日 第5回石川病院糖尿病講演会(四国中央市)
演題：「糖尿病と脳卒中」【篠原】参加人数68名

[7]診療

- 畠山：月～水曜日 石川病院外来 診療患者数20～30名/日
木曜日 愛媛大学附属病院脳神経外科外来診療
日・当直(1～2次救急診療)2～3回/月
- 今川：月～土曜日 石川病院外来診療 患者数30～40名/日
日当直(1～2次救急診療)2～3回/月
- 篠原：月曜日 愛媛大学附属病院手術
火曜日 愛媛大学附属病院脊椎センター外来診療
木～土曜日 石川病院外来診療 患者数20～30名/日
日・当直(1～2次救急診療)2～3回/月
- 村尾： 四国中央病院小児科外来2/週 患者数23～46名/日
健診1回/週30～40名、予防接種1回/週15～50名
当直3～4回/月、待機当番8回



【今号の紙面】

- ★地域医療再生計画の策定★地域医療再生学講座及び地域救急医療学講座の設置
- ★臨床研修病院合同説明会★ドクターバンクの運用開始★県の平成二十二年当初中算★地域医療医師確保短期奨学金貸与制度

愛媛県地域医療再生計画の策定について

前号に掲載しました地域医療再生基金制度につきまして、県では、昨年十一月に平成二十五年末を終期とする「地域医療再生計画」を策定しました。

計画は、医師不足の状況など最も地域医療が脆弱し、早急な対応が求められる宇摩圏域及び八幡浜・大洲圏域を対象に、地元協議会の提議を踏まえ、「救急医療体制の再構築」と「医師確保対策」を核に、○初期救急医療体制を拡充・強化するための休日夜間急患センターの整備や○救急医療を担う医師を確保するための愛媛大学との連携による寄附講座の設置などを盛り込んでいます。

また、当計画推進のため、国の交付金を財源に約5.1億3千万円の「愛媛県地域医療再生基金」を設置しました。

二十二年当初中算において必要な予算を措置したのをはじめ、今後順次予算計上を行うとともに、市町及び関係団体と連携して計画の円滑な推進に努めることとしています。

「地域医療再生学講座」・「地域救急医療学講座」の設置

3月29日(月)に県庁で地域医療再生計画に位置付けた愛媛大学への寄附講座設置に関する協定等の調印式を行いました。

講座は、宇摩圏域を対象とする「地域医療再生学講座」及び、八幡浜・大洲圏域を対象とする「地域救急医療学講座」の2講座で、今後、平成25年度末までの間、対象圏域を



協定書にサインする柳澤学長(右)と加戸知事(左)

中心に、救急医療の確保や医師確保など地域医療の課題解決に向けた事業に取り組むこととしています。

また、講座設置に併せ、四国中央市役所及び市立八幡浜総合病院内に講座教官の活動拠点となる地域サテライトセンターが設置されます。

調印式では、はじめに講座設置に関する柳澤愛媛大学学長と加戸知事との間で協定書の調印を行い、続いて、講座教官の活動拠点となる地域サテライトセンターの運営に関

する覚書の調印を、大西愛媛大学大学院医学系研究科長と井原四国中央市長及び大城八幡浜市長の間で行いました。

加戸知事から「講座が、地域医療崩壊の危機にある圏域が立ち直る原動力になることを期待する。」とのあいさつに続き、柳澤学長からは「人材育成・人材確保の面から支援したい。県と大学、地域の3者が連携し再生を図りたい。」とのあいさつがありました。



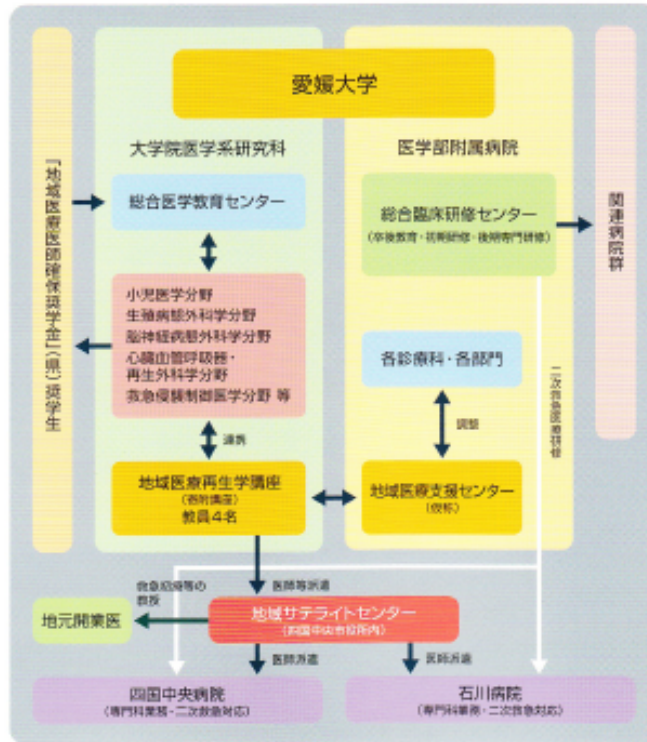
調印式を終え記念撮影する関係者(右から井原四国中央市長、柳澤学長、加戸知事、大西研究科長、大城八幡浜市長)

(講座の概要)

- ▼設置期間 平成22年4月～26年3月
- ▼教官 各講座4名
- ▼実施事業 ①救急医療体制やシステムの研究・開発、②救急医療に従事する医療関係者の養成プログラムの研究・実践、③救急医療をはじめとする地域医療支援、④成果の普及啓発

地域の病院や医療関係者への支援を通じて、宇摩地区の地域医療再生を目指す

地域医療再生学講座 教員 島山隆雄 医師 地域医療再生学講座 教員 今川 弘 医師



宇摩地区の医療再生を図るため「地域医療再生学講座」が、県の寄付により開設されました。平成22年4月から平成26年3月までの4年間、宇摩地区の診療環境の向上を目指し、医療従事者の育成や医療環境の整備を行うのがこの講座の目的です。

この講座には脳外科・心臓血管外科・小児科の計4名の医師が所属し、宇摩地区の救急医療等の支援を行っています。具体的には、医学部内の小児医学分野や生殖病態外科学分野、脳神経病態外科学分野、心臓血管呼吸器・再生外科学分野及び救急慢病制御医学分野と連携し、「地域サテライトセンター」を通じて、四国中央病院と石川病院において専門科業務や二次救急医療の支援を行うほか、地元開

業医への救急初療の教授なども行います。

現在、宇摩地区の医療現場は医師不足や高齢患者の増加などの様々な問題を抱えています。特に救急医療は危機的状況にあり、救急患者の約2割が県外へ搬送されているのが現状です。宇摩地区の医療関係者は懸命に診療にあたっていますが、このままでは救急医療が成り立たなくなる恐れがあります。救急医療の崩壊は、ひいては地域医療そのものの崩壊へと繋がってしまいます。そんな宇摩地区の医療環境を改善するお手伝いを「地域医療再生学講座」はしていきたいと考えています。

この講座の目標は、宇摩地区を住民の方々が安心して医療を受けられる地域にすることです。しかし、あくまで地域医療の主体は宇摩地区の病院や医療関係者の



PROFILE

はたけやまたかお(左)◎市立宇和島病院からサテライトセンターへの異動。石川病院では地域医療・救急担当の副院長。専門は脳神経外科。
いまがわひろし(右)◎愛媛大学医学部附属病院心臓血管外科から、昨年10月より石川病院の副院長。4月から現職。専門は心臓・血管外科。

方々です。まず我々は、宇摩地区の医療現場の中に入り救急医療の実態を把握すると共に、関係者の方々との信頼関係を築いていきたいと考えています。そして、現場の方々と対話しながら、この講座が宇摩地区の医療のためにできることを見極めていきます。平成26年3月までの4年間、各病院や関係者の方々の立場や考えを尊重しつつ、現場の方々と共に宇摩地区の地域医療をより良いものにするため尽力します。





療環境の向上にも努めるようになります。

愛媛大学の大学院に「地域医療再生学講座」、附属病院に「地域医療再生センター」、また、四国中央市役所に「地域医療再生サテライトセンター」がそれぞれ新設され、サテライトセンターを通じて医師が支援病院（石川病院、四国中央病院）に派遣されるようになります。派遣された医師は支援病院で専門科業務や救急医療業務を行う他、看護師やコメディカル職員への教育も行い、診療環境の向上にも努めるようになります。

サテライトセンターの新設

サテライトセンター派遣医師

4月1日より、地域医療再生サテライトセンターから、愛媛大学第2外科の今川弘教授、脳神経外科の岸山隆雄教授、藤原自樹医師の3名が当院に派遣されることになりました。

今川教授は、昨年10月より当院の副院長として勤務して頂いておられますのでご存じの方も多いのではないかと思います。また、常勤医になられたことにより、循環器科の診察は毎日の診療が可能となりました。今川先生の人柄も評判を呼び、患者様からの信頼感は絶大です。

岸山教授は、市立宇和島病院からサテライトセンターへの異動となりました。当院では主に救急医療と地域医療分野をお願いしております。

藤原医師は、愛媛労災病院からサテライトセンターへの異動となりました。藤原先生は地元・四国中央市のご出身で、是非とも当院での診療を、と希望されていると

となります。

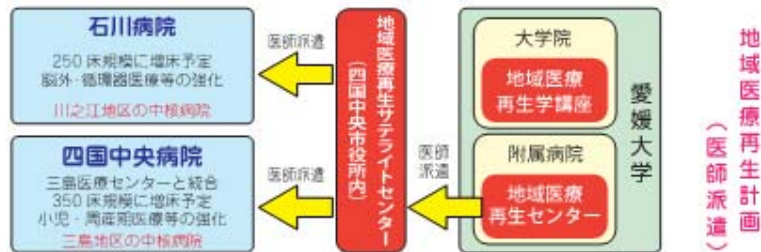
どの先生も皆、市内の2次救急医療体制を充実させるために来られました。次頁以降に各先生方を紹介しますので是非ご覧下さい。

2010

平成22年4月を迎えましたが、依然として経済危機・医療環境と厳しい現実の年です。

医療現場が叫ばれる中、「地域になくはない病院」と全ての市民の皆様から想って頂けるよう、職員一同、日々切磋琢磨しております。

本年も、「困った時は石川病院」と地域住民の皆様へ愛され、頼りにされるようスタッフ一同取り組んで参りますので、宜しくお願致します。



石川病院ニュース 2010.4 No.63

地域サテライトセンターからお知らせ

平成22年4月、地域医療立て直しの為、県の地域医療再生計画のもと、愛媛大学医学部に「地域医療再生学講座」が、当院に「地域サテライトセンター」が開設されました。センターの医師は当院での診療だけでなく、
 ① 地域への診療支援
 ② 圏域内の医師に対する救急診療の教授
 ③ 医学生・研修医等への教育
 など、継続的な医師確保と診療体制の強化を図ります。

当院に「地域サテライトセンター」の看板が設置されました。



石川病院ニュース 2010. No.64

【ひとこと】
脳卒中とは、どんな病気なのかという知識をもつことが大切です。
もし、脳卒中の症状が突然起こった場合には、直ちに病院を受診しましょう。症状がすぐに消失したり、軽いからといって様子を見ることは、初期治療のチャンスを逃すことになり、重症の後遺症が残る可能性があります。

【経歴】
平成7年 愛媛大学医学部卒
平成16年 脳卒中専門医取得
平成22年 当院へ赴任

医療最前線!!
脳卒中医療

当院では日本脳卒中学会専門医による診察を行っています。



愛媛大学大学院 助教
石川病院 脳神経外科 医師
篠原 直樹

脳卒中が疑われたら、一刻も早く専門病院へ



詳しい判定方法は医師から説明を受けてください。
(医師・横本洋一郎)

「顔がゆがんでないか？」
「腕に力が入るか？」
「話し言葉がおかしくないか？」

これらの3つの症状のうち、1つでも突然起こったならば、脳卒中の可能性が70%はあると言われています。脳卒中の治療は時間との戦いです。すぐに救急車を呼んでください。

Q 脳卒中とはどんな病気？
どんな症状や前兆があるの？

A 緊急治療が必要な病気です。もし、次のような症状が起こった場合には直ちに脳神経外科や神経内科のある救急病院での診察を受けてください。


石川病院ニュース 2010.8 No.65

石川病院「愛媛大学地域サテライトセンター」の活動状況

平成22年4月1日、愛媛大学「地域医療再生学講座」が開設され、教員4名が就任しました。大学での医療・研究・教育も行っていますが、現在主な活動は、四国中央市においての診療活動です。その活動拠点として、講座開設とともに設置された、四国中央市役所の「地域サテライトセンター」および石川病院、四国中央病院にそれぞれ同センターがあります。石川病院のセンターに3名（心臓外科専門医1名、脳神経外科専門医2名）、四国中央病院のセンターに1名（小児科専門医）を派遣し、それぞれの病院にて専門医として一般および救急診療の支援を行っています。

5月10～21日に愛媛大学医学生（5年生）2名が石川病院で臨床実習を受け、サテライトセンターの教員は石川病院の医師らとともに医学生の教育・指導を行いました。


また、9月1日には愛媛県、四国中央保健所、四国中央市、四国中央市消防本部、市内2次救急病院、宇摩医師会等とこれまでの救急医療の経過、今後のあり方等について話し合いを行いました。



愛媛大学医学部生2名
臨床実習風景（脳神経外科）


石川病院ニュース 2010.10 No.66

適正受診啓発講演会



去る12月1日（水）、四国中央市保健センターにて「心臓病で倒れないために～適正な受診を～」と題した講演会が行われ、愛媛大学大学院医学系研究科地域医療再生学講座教授で、当院副院長の今川弘先生が講師を務められました。

心臓の機能に関することから、不整脈・心筋梗塞・狭心症などの疾患についてお話しされ、約90名の聴衆者は早期発見早期治療の必要性について熱心に聞き入っていました。



石川病院ニュース 2011.1 No.67

第一回地域ふれあい講演会



10月25日に 山田井生きがい研修センターにおいて、愛媛大学大学院医学系研究科・地域医療再生学講座教授で、石川病院副院長の畠山教授に講師をお願いして「脳卒中について」の講演会を開催させて頂きました。お天気もあまり良くなかったのですが、地元の方にはたくさんお集まり頂き、大変嬉しく感じたのと同時に皆様の健康に対する意識の高さを感じました。



頭が痛い...



大切なのは、早期治療！
皆さん、早めの受診を
心がけて下さい。



第二回講演会
1月中旬に予定して
あります。

小規模多機能ケアについても説明

社会福祉法人愛美会 山田井の郷新聞第1弾 12月号

第二回地域ふれあい講演会



1月24日に、山田井生きがい研修センターにおいて、愛媛大学大学院医学系研究科・地域医療再生学講座教授で、石川病院副院長の今川教授に講師をお願いして「いろいろな心臓の病気の知りたいこと」の講演会を開催させて頂きました。心臓病は定期受診や継続して服薬する事が大切です。最後は、皆さん積極的に先生に質問され、充実した講演会となりました。



大切なのは、定期受診！
薬は継続して、飲み忘れ
のないようにしましょう。



社会福祉法人愛美会 山田井の郷新聞第3弾 2月号